

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①探求的な学習活動を通して科学的リテラシーと国際性を育成する教育課程を編成する。 ②生徒の主体的、協働的な学びへの授業改善を組織的に進める。 ③特別活動等への生徒の主体的な取組を推進する。	①SSH及び理数教育推進校に係る実践研究を組織的・計画的に進める。 ②アクティブラーニングの視点を取り入れた授業実践に取り組む。	①SSH推進委員会を定期開催し、内容を全職員で共有して円滑な運営を行う。 ②研修会の開催及び教科による研究・協議等を通して、アクティブラーニングに取り組む。	①探究活動に対する生徒の意識が向上したか。 ②生徒による授業評価結果の向上につながったか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①個々の生徒に応じた支援体制の充実を図る。 ②部活動を通して生徒の生きる力を育成するとともに、学習・進路活動との調和を図る。	①個別面談等を通して生徒のニーズを把握し、教育相談につなげる支援体制を進める。	①全校生徒を対象に、学校生活アンケートを実施し、生徒の具体的なニーズを把握する。 ①ケース会議を活用して情報の共有化を図り、スクールカウンセラー等を有効に活用する。	①アンケートの調査結果を分析できたか。生徒の学校生活に対する満足度が上昇したか。 ①ケース会議等を開催できたか。スクールカウンセラー等の活用件数は増えたか。					
3 進路指導・支援	①生徒が社会との関連の中で、自らのキャリア発達を主体的に考える指導の充実を図る。 ②生徒の第一志望実現に向けた進路指導体制の充実を図る。	①進路について早くから考えさせる工夫を検討する。 ②講習や夏季・冬季のセミナーなど生徒の学習支援の充実を図る。 ②模擬テストの結果分析等を的確に行い、進路指導の充実を図る。	①卒業生講話の内容を工夫する。 ②学力向上の目的と課題を明確にし、ニーズにあった校内外の講習を設定するとともに、生徒への啓発を強化する。 ②生徒に模擬試験の受験を勧めるとともに、結果の利用を進路指導に活用するための研修会を全学年で行う。	①講話後のアンケートは好評であったか。 ②講座の精選と拡充が図られ、受講希望者が増加したか。 ②模擬試験の受験者が増加したか。結果を個別の進路指導に反映することができたか。					

4	地域等との協働	<p>①地域等との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する教育活動を充実させる。</p>	<p>①生徒の地域活動への参加を促す。</p> <p>②地域の研究所や事業所と連携してSSHの教育活動を展開する。</p>	<p>①地域で行われる活動への生徒の参加を呼びかける。</p> <p>②学校設定科目Principiaを通じて地域の研究所や事業所で生徒が探究活動を行い、成果発表を行う。</p>	<p>①生徒の地域活動への参加は増加したか。</p> <p>②生徒の探求活動に対する地域の関心を高めることができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>すべての職員が教育環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、積極的に課題に取り組む組織づくりを進める。</p>	<p>教育課題について教職員の意識を高める取組を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報と課題の共有化を図る。 ・グループが主体となった事故不祥事防止会議を年6回以上開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の回数が向上したか。 ・不祥事未然防止に係る教職員の意識向上が図れたか。 					